

2019 年 6 月 28 日  
三菱電機株式会社

## NEWS RELEASE

### 生産時 CO<sub>2</sub> の排出削減や資源投入量削減など、年度計画をほぼ達成 三菱電機グループ「環境報告 2019」公開のお知らせ

三菱電機株式会社は、三菱電機グループの 2018 年度の環境経営の取り組み成果を「環境報告 2019」として、三菱電機オフィシャルウェブサイトで本日公開します。

2018～2020 年度の活動目標を定めた「第 9 次環境計画」では、「低炭素社会の実現」「循環型社会の形成」「自然共生社会の実現」などを重点推進項目として掲げております。計画の初年度である 2018 年度は、生産時 CO<sub>2</sub> の排出削減や資源投入量の削減など各項目において、年度計画をほぼ達成し、第 9 次環境計画の目標達成に向け計画どおりに推移しました。

三菱電機グループは、SDGs<sup>※1</sup> の達成に貢献するとともに、「製品やサービスによる環境貢献」と「生産活動における環境負荷低減」を通じ、「持続可能な社会」と「安心・安全・快適性」の両立を目指します。

※1：Sustainable Development Goals 国連総会で採択された 2030 年までの「持続可能な開発目標」

「環境報告 2019」（2018 年度の環境経営の取り組み）掲載 URL  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/environment/>

#### 2018 年度の主な取り組みと成果

#### 1. 低炭素社会の実現：製品生産時と使用時の両方で温室効果ガスの排出を低減

- (1) 生産時の CO<sub>2</sub> 総排出量（CO<sub>2</sub> 以外の温室効果ガスは CO<sub>2</sub> 換算）は、高効率機器の導入や運用の見直しなどの各種削減施策により、2018 年度目標の 143 万トンを下回り、130 万トンに抑制<sup>※2</sup>
  - ・エネルギー起源 CO<sub>2</sub> の排出量は、生産増による増加を 6 万トンと見込んでいたところ、高効率・省エネ設備の導入や生産設備の効率化により 3 万トンに抑制
  - ・CO<sub>2</sub> 以外の温室効果ガスの排出量は、低温暖化係数冷媒への転換や生産工程での運用改善などを進め、目標の 25 万トンを下回る 18 万トン（CO<sub>2</sub> 換算値<sup>※3</sup>）に抑制
- (2) 製品使用時の CO<sub>2</sub> 削減率は、パワーデバイス・空調機・給湯システム機器などの製品の省エネ化が進み、2018 年度目標の 35%を上回る 36%まで向上し、製品使用時の CO<sub>2</sub> 削減貢献量は目標の 7,000 万トンに対し 7,700 万トンに拡大

※2：CO<sub>2</sub> 排出係数は電気事業連合会 2013 年公表値「0.487t-CO<sub>2</sub>/MWh」を使用

※3：CO<sub>2</sub> 以外の温室効果ガスの温暖化係数は IPCC 第二次評価報告書 1995 年公表値を使用

#### 2. 循環型社会の形成：製品の小型・軽量化による資源投入量や水の使用量を削減

- (1) ガス遮断器・サーボモーター・大型映像システムをはじめとした製品において、製品の小型・軽量化を進め、資源投入量の削減を図ることで、2000 年度比で資源投入量の平均削減率は目標の 40%を上回る 45%を達成
- (2) 水の使用は、生産工程内でのリサイクル利用や、中水再利用などをグローバルで進め、基準年度である 2010 年度比で売上高原単位を 8%（年率 1%）改善する目標に対して、23%を達成
- (3) 資源の有効利用については最終処分率を指標として取り組み、当社・国内関係会社は目標を達成。海外関係会社では前年度より改善したものの 0.5%の目標に対し 0.52%と未達

#### 3. 自然共生社会の実現：国内拠点の地域における生物多様性保全活動の拡大

- (1) 希少種・固有種の保全をはじめとする生物多様性保全活動の一環として、国内すべての製作所（24 拠点）で敷地内の生物調査、地域固有種の保護などを実施
- (2) 親子向け自然観察「みつびしでんき野外教室」と「里山保全プロジェクト」を計画通りに開催し、目標の 4,000 人が参加

報道関係からの  
お問い合わせ先

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号 TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431  
三菱電機株式会社 広報部

## 今後の展開

三菱電機グループの環境活動は、「SDGs（持続可能な開発目標）」において、2030年までに達成すべき17の目標のうち、「7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」や「13. 気候変動に具体的な対策を」など、7つの目標の達成に貢献します。

さらに、三菱電機グループは、2050年を見据えた「環境ビジョン 2050」※4を策定し、より長期的な視野で環境活動を推進していきます。

※4：2019年6月13日広報発表 <http://www.mitsubishielectric.co.jp/news/2019/0613-a.html>

## 主な活動項目における目標と実績について



…たいへんよくできました



…よくできました



…おいしい



…もっとがんばりましょう

分類	主な活動項目		評価指標		2018 年度 目標	2018 年度 実績	評価
低炭素社会の実現	生産時の CO <sub>2</sub> 排出削減		CO <sub>2</sub> 換算排出量		143 万トン	130 万トン	
	製品使用時 CO <sub>2</sub> の 排出削減	省エネ性能 向上による製 品使用時 CO <sub>2</sub> 削減	平均削減率 (2000 年度比)		35%以上	36%	
		製品使用時 CO <sub>2</sub> 削減の 貢献量拡大	削減貢献量		7,000 万トン	7,700 万トン	
循環型社会の形成	資源有効活用		最終処 分率	当社	0.1%未満	0.001%	
				国内 関係会社	0.1%未満	0.01%	
				海外 関係会社	0.5%未満	0.52%	
	資源投入量の削減		平均削減率 (2000 年度比)		40%以上	45%	
	水の有効利用		売上高原単位 1%/年 削減 (2010 年度比)		8%	23%	
自然共生社会の実現	「みつびしでんき野外教室」 「里山保全プロジェクト」の 継続開催		参加人数		4,000 人/年	4,000 人/年	
	事業所の生物多様性保全 構内生物調査		実施事業所数		全 24 事業所	全 24 事業所	